

修正「大阪モデル」について

令和 2 年 7 月 3 日
健康医療部

修正「大阪モデル」の考え方

<基本的考え方>

- 感染拡大状況を判断するため、府独自に指標を設定し、日々モニタリング・見える化。
- 各指標について、「感染拡大の兆候」と「感染の収束状況」を判断するための基準を設定し、各基準の状況に応じて、府民に周知する。

<モニタリング指標と基準、信号の点灯・消灯基準の考え方>

1. 感染拡大時におけるクラスター対策・可変的な病床確保等の取組みの充実や「新しい生活様式」の府民への定着を踏まえ、大阪モデルの「注意喚起（黄色）」の点灯水準を現行より引き上げ、「警戒（黄色）」とする。
2. 「非常事態（赤色）」の指標を新たに設定し、想定病床を上回る感染拡大の恐れが生じていることを府民に周知する。
3. 感染発生状況については各指標を日々モニタリング・見える化し、「警戒（黄色）」の発動の有無にかかわらず、発生状況に応じて病床確保などの取組みを迅速にすすめる。
4. 「警戒（黄色）」が点灯しない場合でも、感染発生状況に応じて、府民への注意喚起を行う。
5. 非常事態等の解除においては、感染収束が見られることから、一定期間「解除（緑色）」を点灯させた後、消灯させる。

<信号の点灯・消灯基準>

それぞれのモニタリング指標を全て満たした場合 警戒の基準 ⇒ 黄 非常事態の基準 ⇒ 赤 警戒・非常事態解除の基準 ⇒ 緑（ただし、一定期間経過後消灯）

現行「大阪モデル」から修正「大阪モデル」への修正点

<修正（１）>

- 「自粛要請等の基準」「自粛解除の基準」を、府民に対する「警戒の基準」「非常事態の基準」「解除の基準」とする。

<修正（２）>

- 指標①「感染経路不明者の前週増加比」を、指標②「感染経路不明者数」と組み合わせた基準設定とする。
- 基準を「指標① 2 以上」「指標② 10人以上」に引き上げ、急な感染拡大でない場合の「感染拡大の兆候」の探知を確実にする。

<修正（３）>

- 指標③について、「確定診断検査における陽性率」に代わり、「7 日間合計新規陽性者数」とする。
- 基準を「120人以上かつ後半 3 日間で半数以上」とすることで、「感染拡大の兆候」の早期の探知を確実にする。

<修正（４）>

- 府民に対する「解除」のモニタリング指標を、国の解除基準の 1 つである「直近 1 週間の人口10万人あたり新規陽性者数0.5人未満」とする。

<修正（５）>

- 府民に対する「非常事態」のモニタリング指標を、「患者受入重症病床使用率」とする。
- 基準を、「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内に70%以上に達した場合とする。

<修正（６）>

- 「確定診断検査における陽性率」は、参考指標として日々のモニタリングを継続する。
- 感染経路不明者の割合（感染経路不明者数／新規陽性者数）を参考指標として設定し、日々モニタリングする。

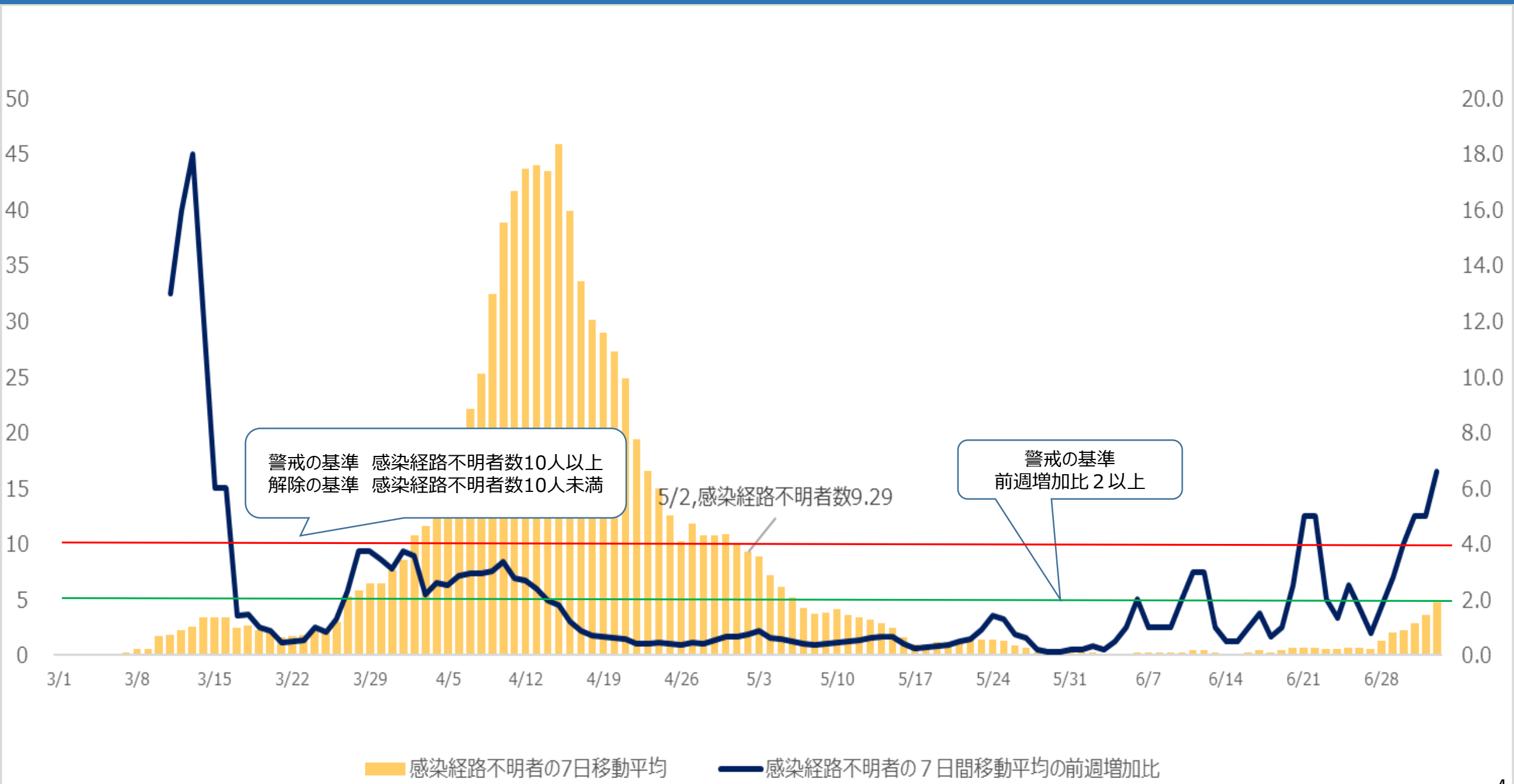
修正「大阪モデル」 モニタリング指標と基準の考え方（案）

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する警戒・非常事態解除の基準
(1) 市中での感染拡大状況	① 新規陽性者における感染経路不明者 7 日間移動平均前週増加比	① 2 以上 かつ ② 10 人以上	—	修正 (1) ② 10 人未満
	② 新規陽性者における感染経路不明者数 7 日間移動平均			
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③ 7 日間合計新規陽性者数	120 人以上 かつ 後半 3 日間で半数以上	—	—
	④ 直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規陽性者数			
(3) 病床のひっ迫状況	⑤ 患者受入重症病床使用率	—	修正 (5) 70% 以上 (「警戒 (黄色)」信号が点灯した日から起算して 25 日以内)	60% 未満
	修正 (6)	—		
【参考指標】	⑥ 確定診断検査における陽性率の 7 日間移動平均	—	—	—
【参考指標】	⑦ 新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—

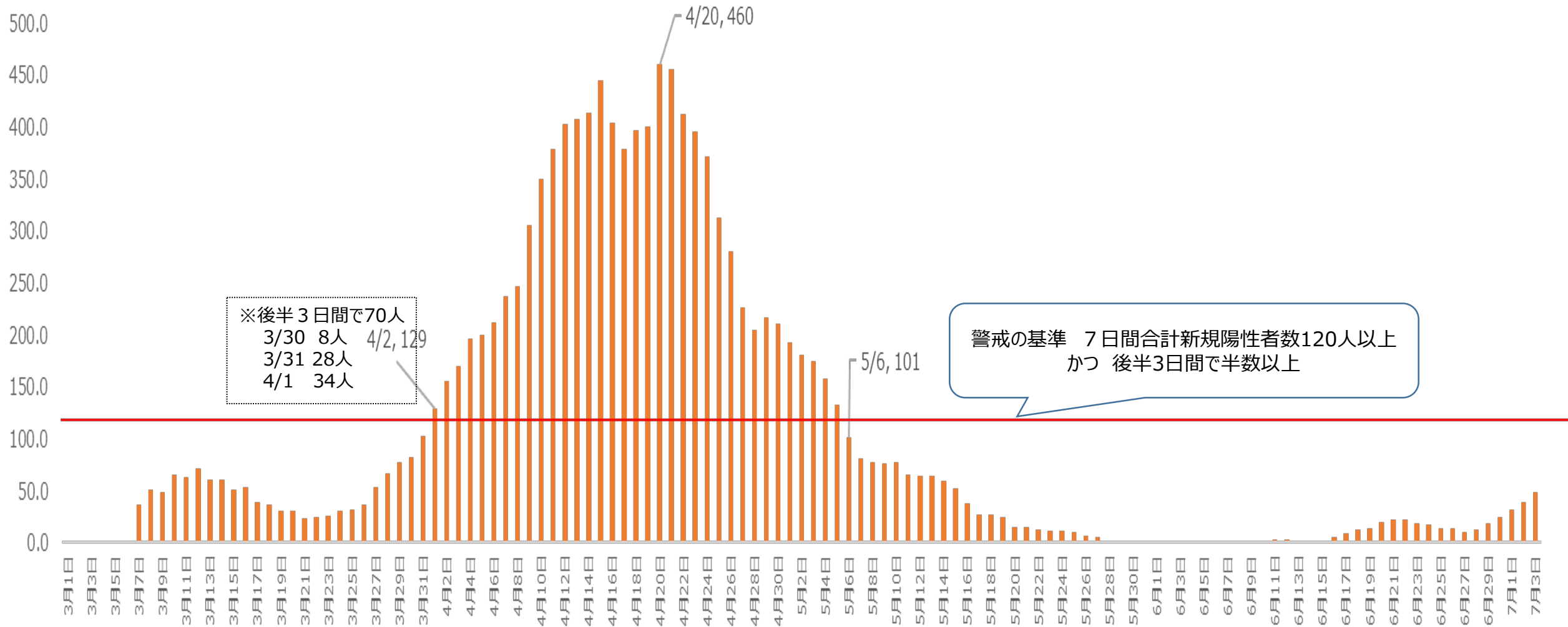
<考慮事項>

- 警戒基準引き上げにより、緩やかな感染拡大の兆候に対しては早期の探知が機能しないことから、都道府県による社会への協力要請を行うべき国が示した基準日の条件（直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規陽性者数 2.5 人）を満たした場合には、指標①②に基づく感染経路不明者の増加傾向、及び新規陽性患者の日々の増加傾向を踏まえて、専門家会議の構成員等の意見を聴取し、対策本部会議で「警戒（黄色）」信号点灯の要否を決定するものとする。
- 国による緊急事態宣言が出された場合、対策本部会議で「非常事態（赤色）」信号点灯の要否を決定するものとする。

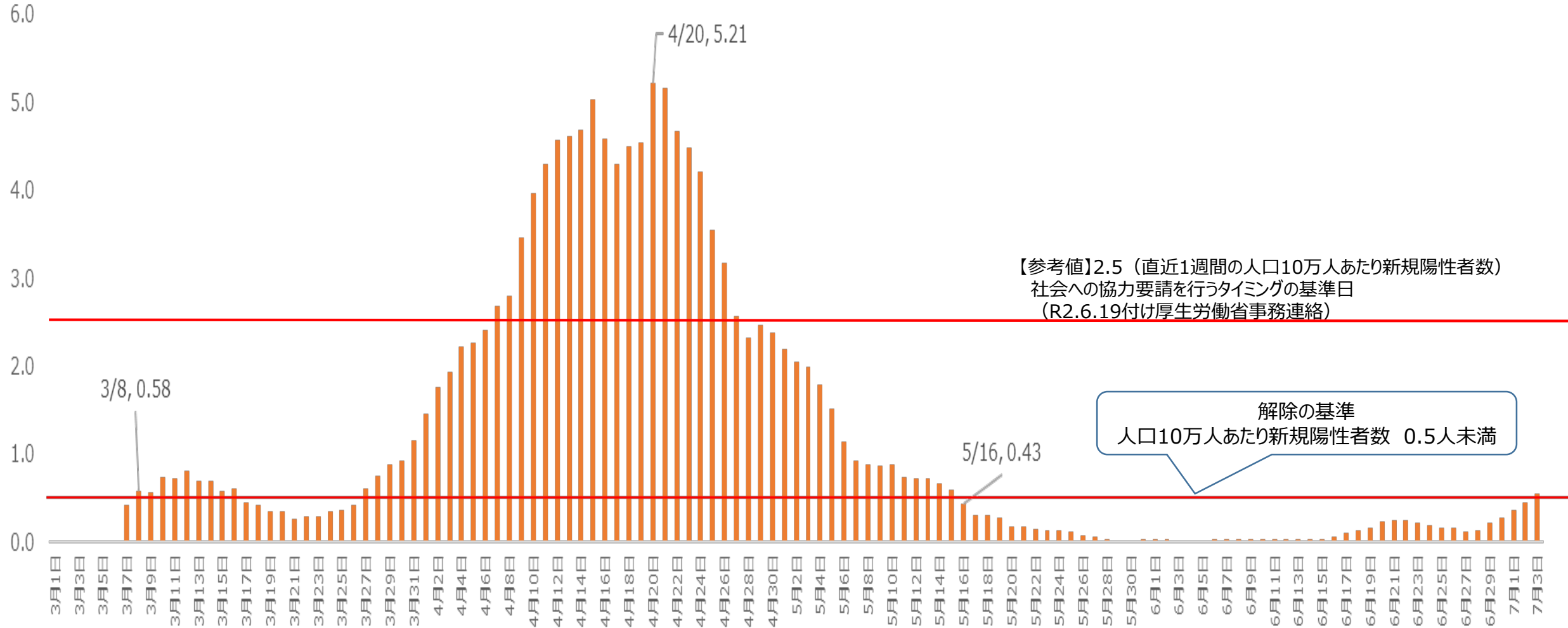
指標①感染経路不明者の7日間移動平均の前週増加比及び指標②感染経路不明者7日間移動平均



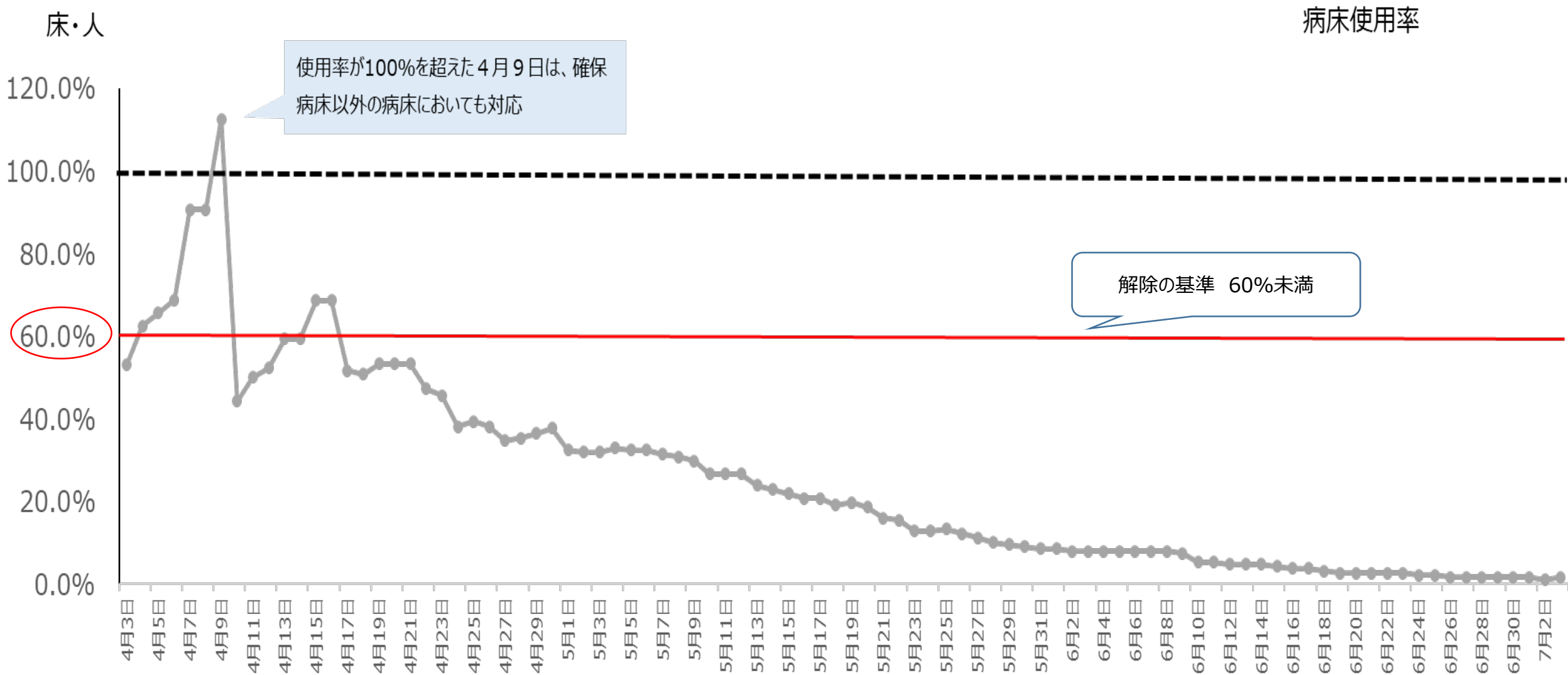
指標③ 7日間合計新規陽性者数



指標④ 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数



指標⑤ 患者受入重症病床使用率

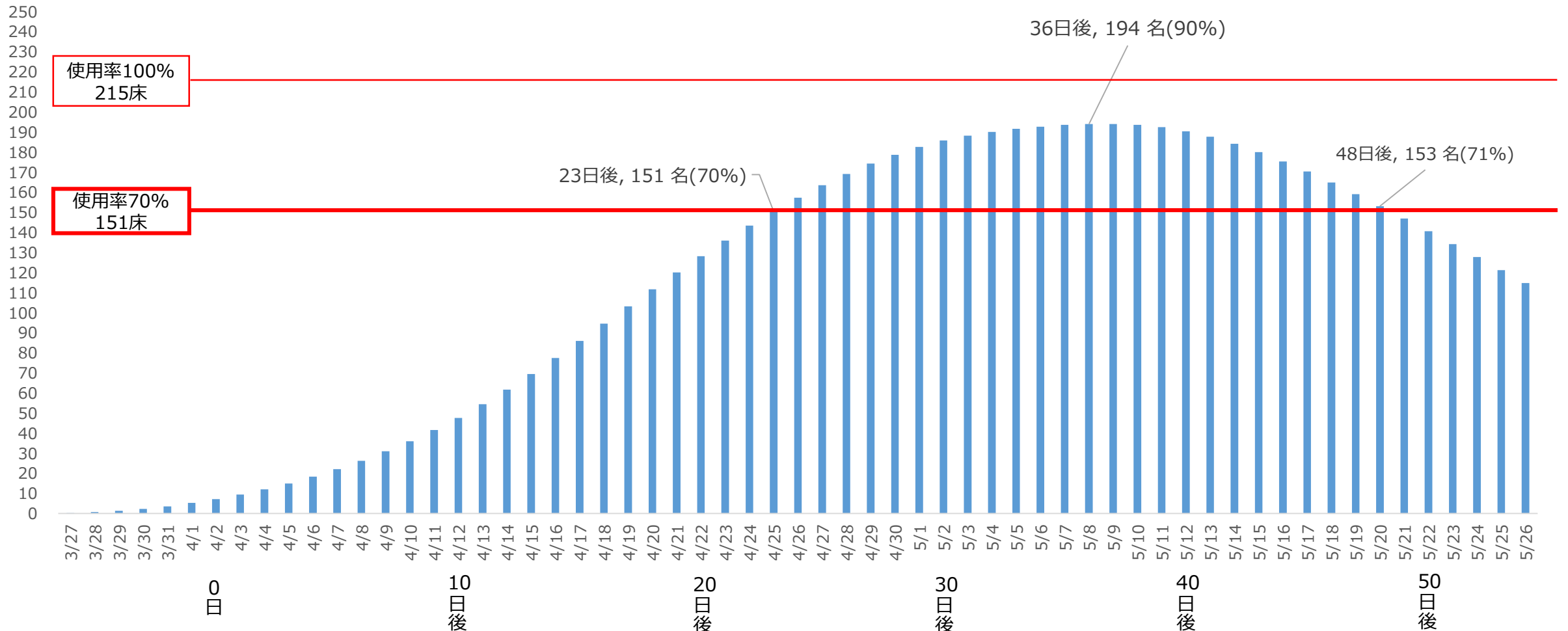


【参考】指標⑤ 患者受入重症病床使用率

R2.6.12大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議資料より一部修正

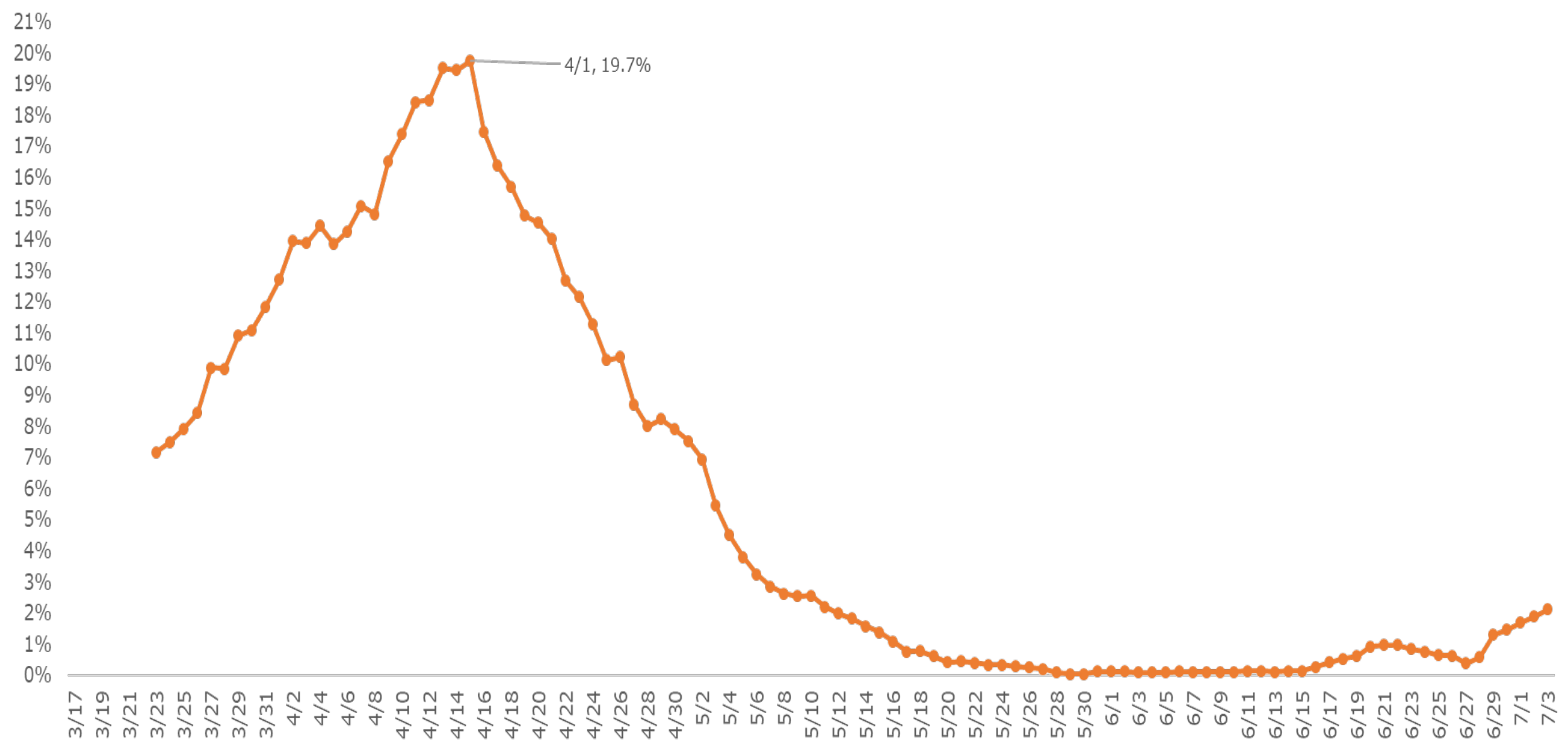
入院患者の試算は大阪府の発生状況(3月27日を起点)に東京都の拡大状況をかけ合わせて試算

入院患者（重症）の試算に基づく重症患者数と病床使用率（想定）



想定する病床使用率では、警戒の基準を満たしてから約25日後に70%を超えるが、100%を超えることはない。

【参考指標】 ⑥確定診断検査における陽性率



【参考指標】 ⑦新規陽性者における感染経路不明者の割合

新規陽性者における感染経路不明者の割合

